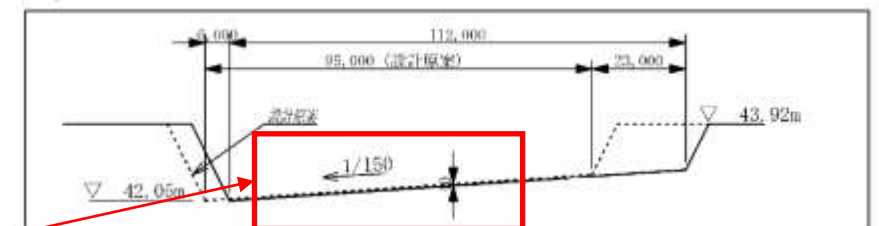
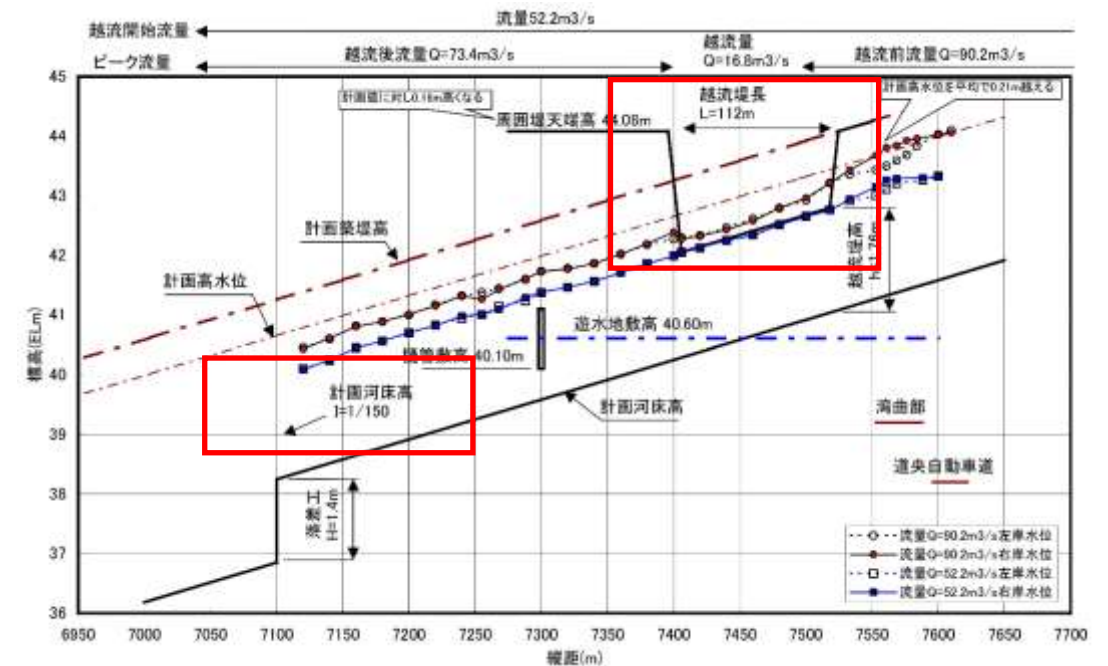
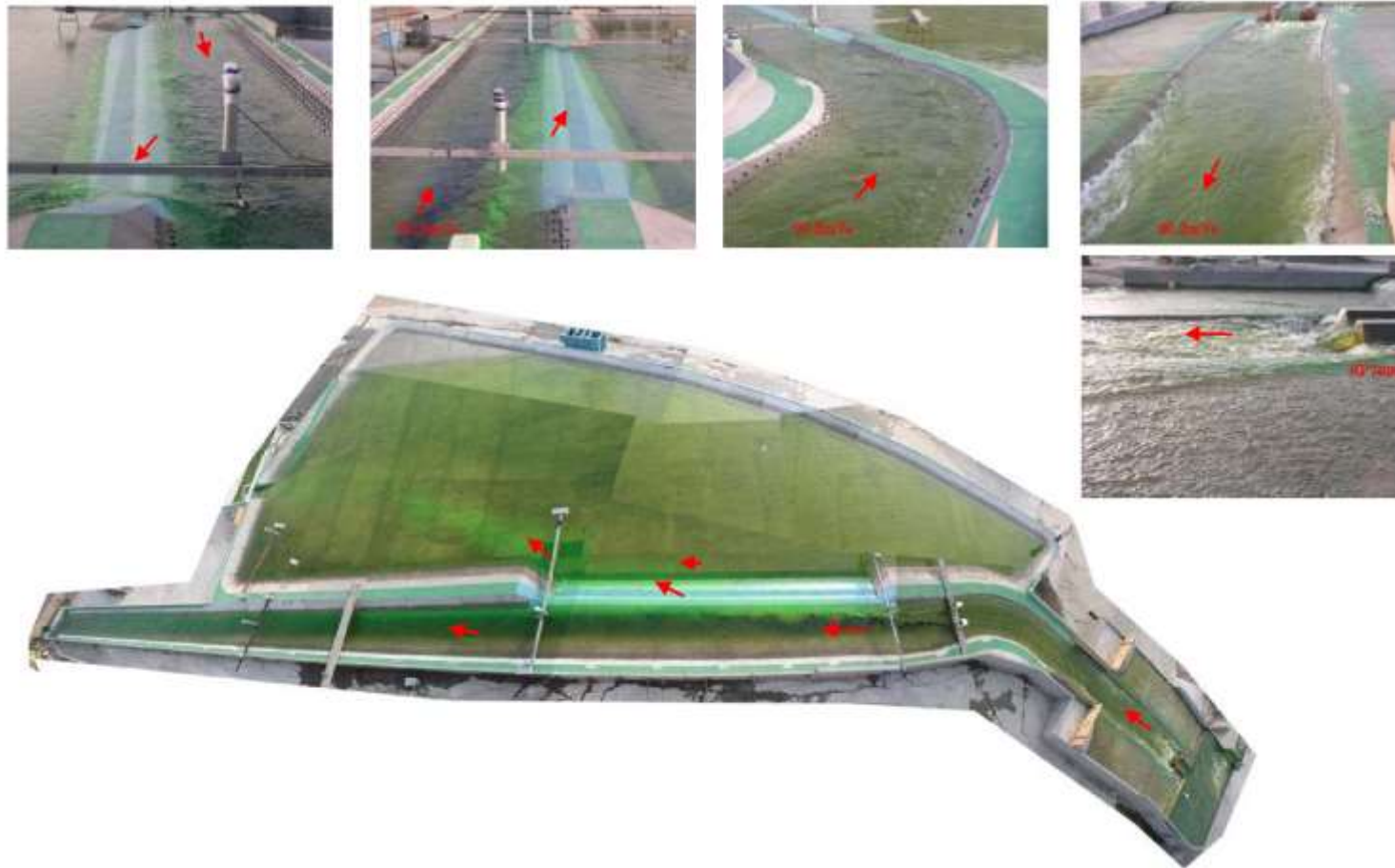


1. 急流河川に遊水地を設置した事例

桜井遊水地は、千曲川が1/100～1/150と急勾配な区間に計画されている。このような急流河川で遊水地を計画している事例を以下に示した。

■管理者:北海道 札幌建設管理部 ■河川名:柏木川 柏木遊水地
■河床勾配:1/150 ■越流堤:横越流堤(勾配堤) ■ピークカット量:16.8m³/s ■遊水地面積A=4.5ha ■計画貯水容量V=44,100m³



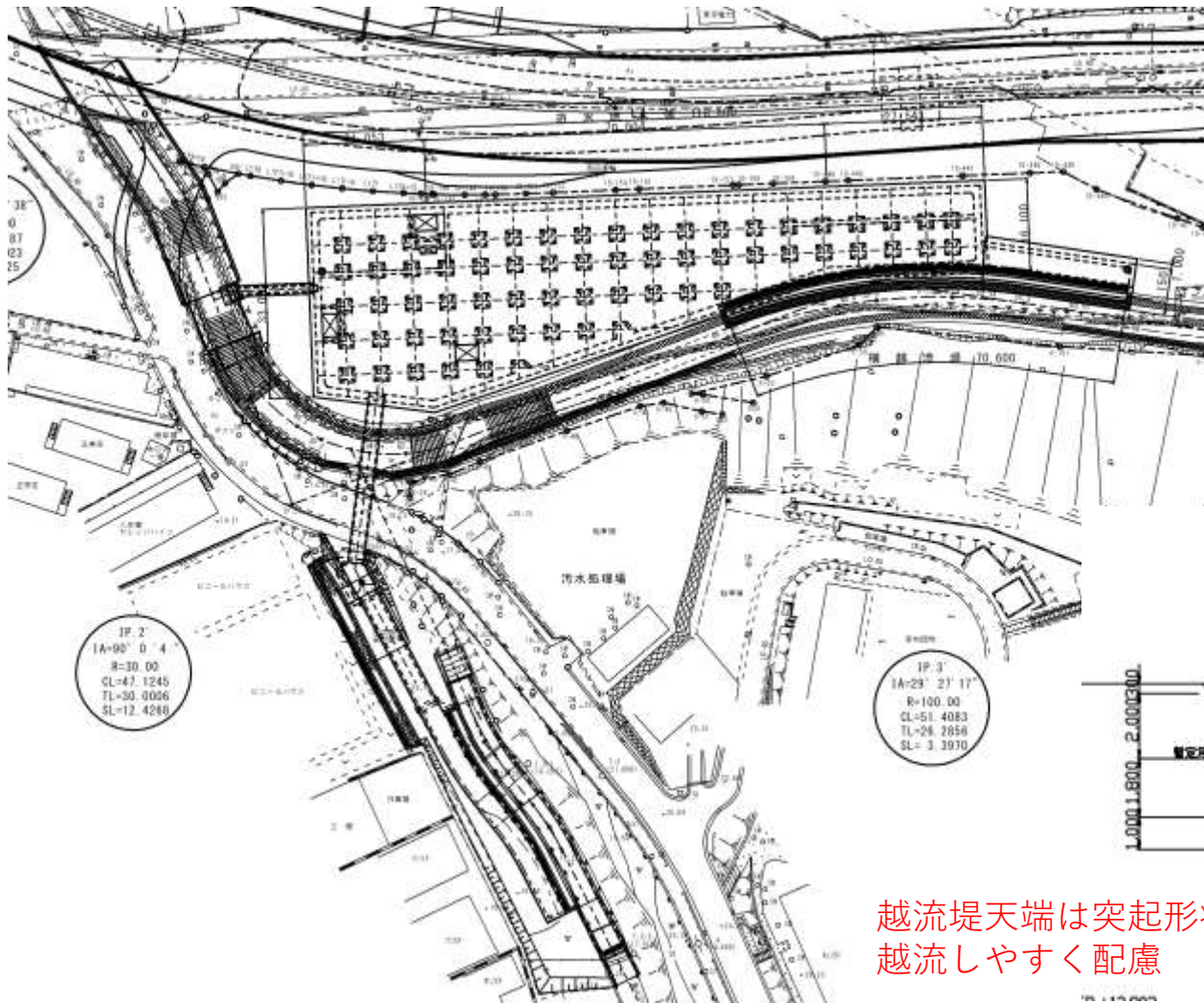
越流堤天端は河床勾配と同じ勾配を設置して急流河川でも所定の調節効果が得られるよう工夫している。

桜井遊水地と比較し規模は小さいが、河床勾配はほぼ同程度の急流河川の事例である。
調節効果を確保するため、越流堤天端に勾配をつけることで急流河川においても計画を満足する施設諸元の設定が可能となった事例である。
→桜井遊水地と同様の方式である

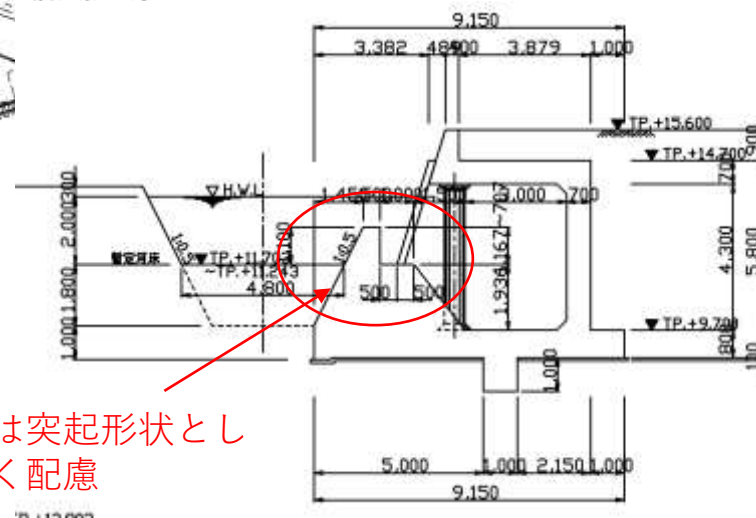


1. 急流河川に遊水地を設置した事例

■管理者:横浜市 ■河川名:鳥山川 鳥山川遊水地(地下式)
■河床勾配:1/150 ■越流堤:横越流堤(勾配堤) ■ピークカット量:23m³/s ■遊水地面積A=0.3ha ■計画貯水容量V=44,000m³



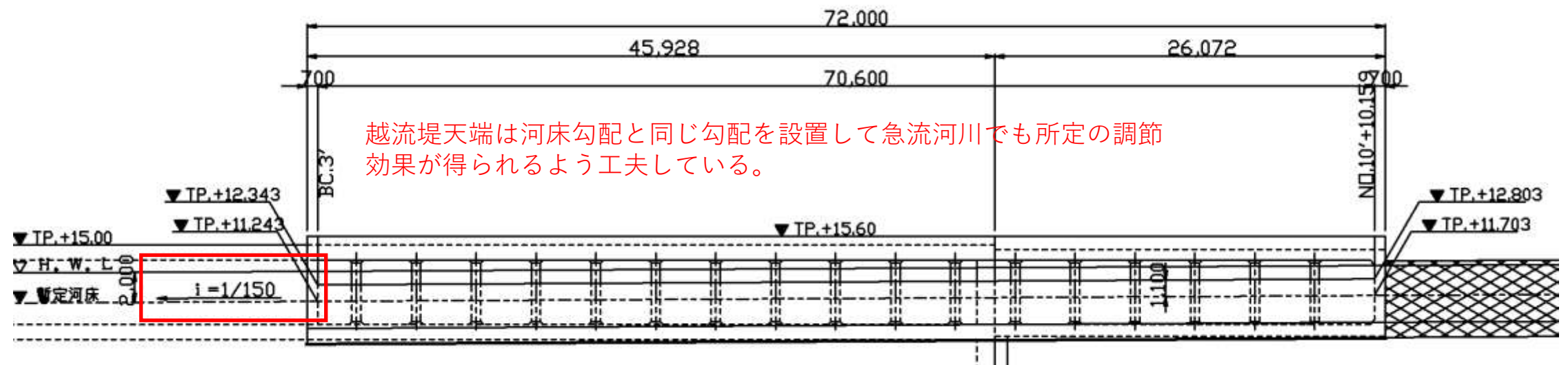
桜井遊水地と比較し規模は小さいが、河床勾配はほぼ同程度の急流河川に設置した地下式遊水地の事例である。調節効果を確保するため、越流堤天端に勾配をつけることで急流河川においても計画を満足する施設諸元の設定が可能となった事例である。また、水理条件が厳しいため河床は護床工で保護し、河床低下によりカット量が減少しないよう配慮している。



越流堤天端は突起形状とし越流しやすく配慮



河道の状況 (河床低下の影響を受けないよう護床工を設置)



越流堤天端は河床勾配と同じ勾配を設置して急流河川でも所定の調節効果が得られるよう工夫している。

